

大津・南部地域木材供給協議会 (TSC) とは・・・

大津・南部地域の滋賀県西部南部地域(大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市の5市)で地元の木を扱う製材業者、木材供給業者の協議会です。製材、加工はもとより、甲賀市の原木市場(甲賀材林 甲賀市水口町杉中)、滋賀南部森林組合(大津市瀬田神領町)、坂本森林組合(大津市坂本本町)など地域の木をお届けできる体制があります。

機械設備は帯鋸盤(12)、丸鋸盤(4)、送材機(4)自動かんば、チップパー、鋸仕上げ機械、オートテーブル、六軸モルダー等があり、乾燥施設は高温蒸気乾燥施設、燻煙乾燥施設等があります。



活動紹介

当協議会では、構成企業が協力し、公共建築物等に対する木材の供給を行っています。「こんにちは!三日月です」で滋賀県の三日月知事と対話の機会があり、地域の木材の課題や木造公共建築への木材供給等について話し合いました。



ここまでする! 大津・南部地域木材供給協議会による木造公共建築施工例

介護施設グループホーム

設計 b.i.n.木村敏建築設計事務所
施工 株式会社坂田工務店
木材 株式会社伊藤源



大津市伊香立北在地町
・木造
・構造材、内装・外装材

福祉施設

設計 井島建築設計事務所
施工 大宝杵木株式会社
木材 京彦木材株式会社



湖南市
・木造
・構造材、内装・外装材

介護施設デイサービス

設計 b.i.n.木村敏建築設計事務所
施工 株式会社坂田工務店
木材 株式会社伊藤源



大津市山百合の丘
・木造
・構造材、内装・外装材

公衆トイレ

設計 株式会社アサヒ設計
施工 株式会社堀光
木材 京彦木材株式会社



守山市
・木造
・構造材、内装・外装材

確かにできる! 木造公共建築ができる3つの理由

1

品質の確かな性能

大津・南部地域の森林面積は28,911haで、林野率は40%です。そのうち、87%が民有林です。民有林のうち、人工林は40%となっています。造林樹種としては、大津市の北の方以外は、ヒノキが多いのが特徴です。(大津市北部はスギが多くなります。)

最近の木材生産は、利用間伐(利用できる木を伐って搬出するとともに、山の管理を行う作業)によって行われ、環境に優しい方法で行われています。針葉樹でもより品質の高いヒノキ材を多く確保し、一定規模以上の木造公共建築にも対応することが可能です。



2

多様なバリエーションの供給

私たちは様々な製材業者、木材供給業者が集がることで、今まで1社では供給できなかった多様な木の種類をご用意することができます。

無垢材では、スギ、ヒノキの土台、大引、管柱、間柱、小割、フローリング、羽目板など内装材、外装材、フローリングの圧密加工、内装材の不燃加工等対応が可能です。

構造用合板では、県産材合板(びわ湖材認定)※の調達に対応できます。

※林ベニヤ株式会社製びわ湖材合板
その他ご相談に応じて各種加工にも対応いたします。



3

安定した流通の確保

滋賀県内の森林から森林関係の法令に適合して伐採された原木と、その原木を滋賀県内で加工した製材品等の木材であるびわ湖材を使います。琵琶湖周辺全体の森の活性化のため、認証森林に限らず、大津・南部地域木材供給協議会が定めた地域の森から木材を安定して調達します。

地元には山が無い場合はできるだけ近くの山の木を使います。そのことによって、地域の山や経済が元気になります。そして、町も人も元気にもなります。そのうえ、流通の安定した木材を使うこと公共建築物等にも供給することが可能です。

